

平成24年度 総務部 運営方針

H24.4.26
経営会議資料1
(総務部)

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを箇条書で)

項 目	根拠となる計画・指針等
・施策の総合的推進 ・安全・安心の推進 ・まちの活力づくり ・財政健全化の早期実現 ・人材育成	・美唄市まちづくり基本条例 ・びばい未来交響プラン前期基本計画 ・美唄市地域防災計画・水防計画 ・美唄市財政健全化計画 ・美唄市情報化推進計画 ・美唄市男女共同参画計画

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に箇条書で)

○施策の総合的推進 情報管理の一元化、国・道との連携強化（補助制度等施策の活用）、総合相談窓口の設置
○安全・安心の推進 危機管理対策室の設置、防災計画の見直し、防災資機材整備、自主防災組織の設立促進 豪雪対策マニュアルの策定、空き家対策の検討
○まちの活力づくり 美唄サテライト・キャンパス事業の推進、移住・定住促進事業、移住・定住サポート事業
○財政健全化の早期実現 財政健全化計画の推進、決算を踏まえた計画の見直し、土地開発公社の経営健全化（土地売却等）
○人材育成 人事交流の推進、計画的な障がい者雇用、職員研修の充実
●その他（専修大学の閉校、旧東栄小改修、旧校舍等活用処分）

6 年間スケジュール（3に記載した事項）

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施策の総合的推進	情報管理担当部署の設置、国・道との連携強化											
			総合相談窓口設置									
安全・安心の推進	防災計画見直し	計画の点検、課題整理		内容改正着手		改正案作成	防災会議開催	パブリックコメント等		改正案決定	議会報告	
	豪雪対策マニュアル	庁内検討・課題等整理		マニュアル案作成		マニュアル完成		マニュアルの運用開始				
	空き家対策条例検討											
まちの活力づくり	サテライトキャンパス運営協議会設立	開講5/12・産業系人材養成講座（5）・まちづくりを担う人材養成講座（5）・市民教養講座（6）計15講座、75回実施・地域と大学連携協働事業	旧東栄小改修方針取りまとめ、事業成果の取りまとめ、事業の検証、翌年事業の検討、事業計画策定									
	移住・定住サポート職員採用	移住定住促進助成スタート	市移住定住推進協議会総会									
財政健全化の早期実現		決算統計	4指標監査提出	23決算実績と計画数値の整理		4指標議会報告	4指標・計画見直し案作成	予算編成作業開始				
	インターネット活用など市有地・公団用地の売却促進											
人材育成	新採用研修（前期）	障がい者正規職員採用試験の検討					新採用研修（後期）					
	その他の研修（随時）	課長職・主幹職研修（5月～6月）					民間企業等短期実地派遣研修（7月～12月）					

2 部の経営資源

(平成24年4月1日現在。予算規模は平成24年度予算書から集計)

職員数		予算規模（単位：千円）									
正規	40人	一般会計	288,522	会計	0	会計	0	会計	0		288,522
嘱託	7人	関係職員費	319,143	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	0		319,143
臨時	1人	公債費	3,842	公債費	0	公債費	0	公債費	0		3,842
計	48人	計	611,507	計	0	計	0	計	0	合計	611,507

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン前期基本計画から選択)

指標名	現状値（H22決算）	H24目標値	備 考
性別役割分担意識からの解放率	47.3%	60%	
審議会女性登用率	19.5%	30%	
平和記念行事数	4件	4件	
自主防災組織率	8.2%	H27目標値25%	
まちづくり参画度	16.7%	20%	
連結実質赤字比率	8.14%	10.12%	早期健全化基準未滿

5 事務事業インデックス I 期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
6～1	特別職給与の見直し	独自削減の継続
6～2	一般職給与の見直し	独自削減の継続
6～3	一般職特殊勤務手当の見直し	組合との協議継続
6～4	職員数の見直し	定員適正化計画の見直し
6～5	財産収入の確保	遊休・未利用財産の売却・貸付等の促進

時 期	質問要旨、一般質問、常任委員会、特別委員会、質問者	答 弁 要 旨	具体的対応・スケジュール	現在までの対応状況
1定	・今年の豪雪で空き店舗や空き倉庫の倒壊があり雪解けが進む中、空き家の倒壊がますます懸念される。滝川では4月から「空き家等の適正管理に関する条例」が制定され、所有者の責務や措置の命令、氏名公表さらには行政代執行等について定めている。本市においても条例を制定すべきと思うが考えを伺う。(一般質問:本郷議員)	・除雪等の必要がある空き家については、所有者や管理者を調査し、適正な管理を要請しているが、所有者等が分からなく、緊急的に危険を防止する必要がある空き家については応急的に市が対応している。条例制定については、本市の場合実効性が低いと考えられるが、全国的に代執行を含めた条例が制定される動きがあり、今後、条例制定を含め、空き家対策について検討する。	・4月から先進事例等の調査を行い、何度内に一定の方向性を出す。	

平成24年度 市民部 運営方針

H24.4.26
経営会議資料1
(市民部)

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを箇条書で)

項 目	根拠となる計画・指針等
- 国民健康保険、後期高齢者医療制度の健全な運営と医療費助成によるやさしさと健康のまちづくりの実現 - 生活習慣病を防止や予防するため、より一層の受診率向上に努め、長く健康に生活することを目指す。 - 防犯や交通安全運動、市民バスの運行などによる安全で安心な地域づくりの実現 - ごみの減量化と資源の有効利用、環境への負荷の少ない循環型社会の創造と美しきまちづくりの実現 - 自主財源である市税等の適正な確保及び納税者の公平な税負担による行政への信頼関係を構築する。	- 特定健康診査等実施計画（2期目） - 地域公共交通総合連携計画 - ごみ処理基本計画 - 南空知3市町地域循環型社会形成推進地域計画 - 財政健全化計画

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に箇条書で)

- 国保事業の健全運営のための方策の実施及び検証 医療適正受診対策や健診受診・保健指導の推進 - 国保税改定にかかる説明会の実施、周知及び制度の説明・適正受診啓発などの実施 - 戸籍の電算化実施のための情報収集～他市共同実施など財源確保ほか方策 - 地域安全活動の推進（交通安全、地域安全） - 市内バス路線、乗合タクシーによる路線維持のための財政支援 - 乗合タクシーの実証運行（茶志内日東地区、中村沼の内地区、西美唄開発地区） - ごみの減量化に向けての推進（町内会等の集団回収の促進） - 生ごみ堆肥化、可燃ごみ広域処理の検討 - し尿等共同処理 - 市税等の収納率向上 現年分の収納対策を強化し、早い時期での催告書等で新規滞納繰越額を抑制する。 滞納繰越分については、滞納者の払税能力を適切に見極めるため、きめこまやかな納税相談・指導を実施し、あわせて給与・預金並びに換価を前提とした不動産、自動車、動産などの財産調査を徹底し、差押を強化するとともに、払税能力を見極め、滞納処分の停止を適切に行う。 また、「納税しやすい環境づくり」として、引き続きコンビニ収納について、調査、検討するほか、滞納整理マニュアルを作成し、一層の滞納整理強化に取り組む。	
--	--

6 年間スケジュール（3に記載した事項）

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国保事業の健全運営	税率改定含む『国保だより』発行 7月試験まで	税率改定含む『広報』掲載 国保会計補正(予定)	決算分析 (事業計画)	運営協議会		適正受診対策 (多重複受診)	運営協議会		事業状況の確認	適正受診対策 (多重複受診)	運営協議会	
特定健診・特定保健指導の推進(計画作成含む)		推進検討委員会 健診準備(受診券)	受診券発送 (年度末迄有効)	個別健診開始	集団健診開始	特定保健指導 開始		推進検討委員会	推進検討委員会			推進検討委員会 個別健診終了 推進計画完成
戸籍の電算化実施のための方策 (他市との共同策など)				札幌法務局管内連合 総会(7/6金曜日)		岩見沢支局 主管者会議	27年度までの実施に 向け、(三笠&夕張) の動向把握					
乗合タクシーの実証運行	我路&盤の沢地区 懇談会			日東・茶志内・上美 唄・中村等方面説明 会				日東・茶志内・上美唄・ 中村等方面実証運行				
地域公共交通活性化		協議会開催			協議会開催				協議会開催			
生ごみ堆肥化、可燃ごみ広域 処理の検討	衛生協力会総会 審議会から答申 アンケート集計 生ごみ成分解析 農協協と協議	委員会道外視察 各団体等と協議堆 肥化(町内会) 堆肥化に向けた考 え方を出す予定	第1回減量等審議会 (任期満了のため) 第2回定例会で補正 (生ごみ堆肥化に 向けた基本計画)	堆肥化含む減量化出 前講座(随時) 基本計画入札 自治体組織代表者会議 (堆肥化の説明)	減量等審議会		まちづくり懇談会	減量等審議会 堆肥化の施設場 所等含め協議		建設場所近隣地 区との話し合い及び 説明会開催	減量等審議会	
し尿等共同処理	し尿幹事会	下水&し尿総会	し尿幹事会		し尿幹事会		し尿幹事会		し尿幹事会		し尿幹事会	
市税等収納対策の推進	強調週間	強調月間		滞納一斉催告			強調月間	強調週間	強調月間	強調週間	強調週間	強調月間
	現年催告				預金調査 給与調査		収納対策本部設置		収納特別対策本部設 置・管理職徴収・現 年催告・インター ネット公表			

2 部の経営資源

(平成24年4月1日現在。予算規模は平成24年度予算書から集計)

職員数		予算規模(単位:千円)									
正規	45人	一般会計	688,688	バス会計	41,937	国保会計	3,823,833	後期会計	751,042		5,305,500
嘱託	8人	関係職員費	331,029	関係職員費	3,641	関係職員費	67,593	関係職員費	0		402,263
臨時	6人	公債費	0	公債費	0	公債費	0	公債費	0		10
計	59人	計	1,019,717	計	45,578	計	3,891,435	計	751,042	合計	5,707,773

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン前期基本計画から選択)

指標名	現状値(H22決算)	H27目標値	備 考
ごみの適正分別率	79.9%	86.0%	
リサイクル率	13.8%	18.2%	
市税収納率	現年分 96.88% 滞納分 11.75%	現年分 98.0% 滞納分 15.0%	

5 事務事業インデックスI期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
6_6	市税収納対策の強化	預貯金・給与等の財産調査及び差押の実施
6_11	東美唄出張所の見直し	検 討

5 自立推進計画実施事項

--	--	--

時 期	質問要旨、一般質問、常任委員会、特別委員会、質問者	答 弁 要 旨	具体的対応・スケジュール	現在までの対応状況
1定 一般質問	①安定的に堆肥を確保するための方策は考えているのか ②最終処分場の残容量からも期限が迫っているが、堆肥化に向けた今後のスケジュールはどの様になっているのか 谷村議員	①現在は決まっていないが、堆肥量を確保するための方策について検討して参りたい ②27年4月から広域がスタートするので、H26年度中に施設整備を完了し、共用しなければならないと考えている。	①同 左 ②同 左	①審議会から答申(4/9)頂き、アンケート総集計を行い方向を ②同 左
〃	・乗合タクシーの今後の運行計画について 五十嵐議員	・今年の秋頃を目途に西側を5地区に分けて2ヶ月の実証運行を考えており、事前に各地域には説明と意向を確認し、取り組んで行きたい。	・7月頃地元への説明会后、11月頃から運行開始予定とする	・我路&盤の沢の意見交換及び集約後、西地区の運行に向け、参考する。
〃	・市民バス東線、労災に行くのに、美唄富良野線に出なければ行けないが、説明会で十分な理解を得たのか？実証運行を検証し、今後スムーズな運行に向けてどう考えているのか、 土井議員	・現在アンケート調査を実施中、この結果を踏まえ、秋頃を目途に見直しをし、改めて説明会を実施したい。	・アンケート集計後、4月中に実施予定	
1定 予算	・国保の値上げ、住民説明をすべきではないか 長谷川議員	・しなければならないと考えてる。	・国保日より発刊(各関係機関に配布)更に、公報で周知図る。	・既に、3月に発刊済み、4月5月も同様に発刊し、周知を図る
〃	・今次の豪雪被害、市税等の減免は無いのか？有るなら、周知すべきではないか 倉本議員	・減免基準ある、早い時期に、市民には周知したい。	・5月号の公報で市民周知	・5月号の公報で周知をする他、税の窓口等でもチラシ配布

平成24年度 教育委員会 運営方針

H24.4.26
経営会議資料I
(教育委員会)

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを簡条書で)

項 目	根拠となる計画・指針等
「地域にねざし、暮らしに学ぶ」教育の推進 ○美唄らしい特色ある教育の推進 ○美唄市の教育課題の重点的対応 ○教職員の資質向上 ○教育環境の充実 ○芸術・文化の振興 ○生涯学習の充実	・平成24年度教育行政執行方針 ・第2次美唄市生涯学習推進計画前期計画 ・美唄市立幼稚園配置見直し計画 ・第2次美唄市子ども読書活動推進計画

2 部の経営資源

部の構成 学務課(幼稚園、小中学校、給食センター含む)、生涯学習課、図書課

(平成24年4月1日現在。予算規模は平成24年度予算書から集計)

職員数		予算規模(単位:千円)									
正規	40人	一般会計	687,482	会計	0	会計	0	会計	0	会計	687,482
嘱託	17人	関係職員費	377,324	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	377,324
臨時	39人	公債費	217,159	公債費	0	公債費	0	公債費	0	公債費	217,159
(教職員数169人)											
計	96人	計	1,281,965	計	0	計	0	計	0	合計	1,281,965

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために市政執行方針に記載した事項を中心に簡条書で。下線は特に重要な事項。)

○美唄らしい特色ある教育の推進	・グリーン・ルネサンス推進事業の推進(食農教育(農業)、環境教育(富島沼)、地域文化(アルペリアツツナ))
○美唄市の教育課題の重点的対応	・確かな学力育成プランの推進(標準学力検査・知能検査の併用による学力の多角的検討、スクールソーシャルワーカーを含めた相談機能の充実)
○教職員の資質向上	・学校支援地域本部事業の推進(地域の人的資源の活用)
○教育環境の充実	・教職員研修の充実(校内研修の活性化、ふるさと美唄研修会、教職員ICT研修、教職員専門研修などの実施)
○生涯学習の充実	・施設設備の改修(総体(舞台吊物撤去、卓球台の更新)、市民会館(大ホール中割幕レール交換))
	・青少年健全育成事業の充実(ジュニアチャレンジスクールの拡充等)
	・学習機会の充実(生涯学習計画の推進、学習機会の提供、郷土史料館活性化事業の推進、美唄サテライト・キャンパスの実施)
	・体育センターの維持管理
	・ブックスタート事業の拡充(3歳児健診で絵本の提供)

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン・施策評価から選択又は新設)

指標名	現状値(H22決算)	H24年目標値	備 考
・家庭学習を毎日1時間以上行う子どもの割合	小学生6年 34.4% 中学生3年 60.9%	→ 現状値引き上げ	
・学習内容を理解している児童・生徒の割合	63.9%	→ 現状値引き下げ	
・不登校児童・生徒数	26人		
・生涯学習・スポーツに取り組む市民の割合	39.4%	41.0%	
・市内の芸術・文化鑑賞をした市民の割合	23.9%	27.0%	
・市民文化祭に参加した市民の数	1,357人	2,050人	
・スポーツ教室年間参加者数	414人	680人	

5 事務事業インデックスI期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
2-2	・三井美唄幼稚園の配置見直し	・H23年実施 → H25年実施(認定こども園へ)
2-4	・体育センターの廃止	・H23年実施 → H26年実施 (利用料金の改定、効率運用)

6 年間スケジュール(3に記載した事項)

※事務事業インデックスの「行財政改革」に掲載。

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
美唄らしい特色ある教育推進 (グリーン・ルネサンス推進)	体験準備(園遊の準備・実施への調整)	様式付け作業 検討委員会開催	育成管理 活動の把握・整理	→	→	→	→	→	→	→	→	→
教育課題の重点的対応	標準学力検査 知能検査の実施	検査の実施(標準 知能)	結果の送付、学校 改善プランの見直し	学力向上プロジェクト 会議の開催・検討	→	→	→	→	→	→	→	→
教職員の資質向上	ICT研修の準備	学校調整	→	各学校で実施	→	→	→	→	→	→	→	→
教育環境の充実	幼保一元化 西美唄小学校 フッ化物洗口推進 事業	検討委員会開催 具体的な内容の詰め	市議会意見聴取	パブリックコメント	条例市議会提案	→	→	→	→	→	→	→
生涯学習の充実	学習機会の充実	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

時 期	質問要旨、一般質問、常任委員会、特別委員会、質問者	答 弁 要 旨	具体的対応・スケジュール	現在までの対応状況
1定	フッ化物洗口について、今後小学校へと進めていく中で、教職員の理解が得られない場合は職務命令による取扱いとなるのか。(一般質問—森川議員)	今後学校現場に説明を行い、理解が図られるよう努めていく。	4月～5月 他市での実施状況を把握。 市内小学校施設設備との相違を確認。 6月～8月 取扱い手順、説明会の段取りなどを学校と協議。 8月～9月 保護者説明会等の実施。 10月 予算見積り	H24. 1月 公立幼稚園・保育所で洗口開始 H24. 4月 公立幼稚園・保育所での新年度準備・実施 私立幼稚園・民間保育所での説明会の開催 実施に向けた意向調査
1定	柔道の実施に向けて指導の安全をどのように確保していくのか。(一般質問—丸山議員)	体育担当教諭の研修会の積極的な受講とともに、柔道連盟などとの連携によるボランティアでの指導者の確保を行ってきている。今後はさらなる研修機会の充実や安全な指導内容を道教委に求める。市としても、安全な指導が進められるよう指導力向上に向けた取り組みを進める。	4月～10月 道教委主催研修会の受講(予定未定) 5月 少年団指導の見学 柔道連盟と独自研修の協議 5月～7月 指導指針の検討(道とも協議)	H23. 10月 柔道連盟に指導協力の依頼 11月 峰延中学校に指導者派遣(峰中のみ先行実施) H24. 1～3月 道教委主催研修会に教員が参加
1定	教育委員会の公開性を高め、開かれた教育委員会としていくための取組をどう考えるのか。(一般質問—倉本議員)	会議の持ち方や公開の在り方、市民周知の方法などについて教育委員会議の中で議論し、検討する。	4月～ 教育委員会議で会議の公開性に関して検討	3月 教育委員会議で、議会の質問について説明
1定	災害や搬送のトラブルなどにより、給食が突然届かない状況となった場合などに備え、近隣の公共施設等に非常食の保管などが必要では。(一般質問—吉岡)	非常用食品の施設毎の保管や地域単位での商店などの食品供給提携など、多様なケースを想定した対応のあり方を検討する。	総務部で検討している「防災関連物資」の保管場所(各地域に拠点を置く)設定、配備の中で、非常食の活用を検討する。(種類・食数等。)	3月 センター内での検討。
1定	郷土史料館の今後の方向性についてどのように考えているのか。(予特—丸山委員)	「学びの拠点施設」と位置づけており、今後の方向性は、「あり方を考えるワークショップ」の意見を踏まえながら検討を行う。	8月～10月 「あり方を考えるワークショップ」 10月 あり方の方向性のまとめ	
1定	西美唄小学校を中央小学校に統合することに伴って、放課後児童施設利用者への特別な配慮は考えているのか。(総務・文教委員会—谷村委員)	少年団活動後のスクールバス等での帰宅について、西美唄保護者から求められており、その検討に併せて考える。	美唄中学校部活便(スクールバス)の活用が可能かどうか検討を行う。 7月 保護者等の意向把握	